

秋田県  
議会便り  
No.29

# こんにちば

社民党

発行 石田 寛

県議会控室 TEL.018-860-2070  
〒010-8570 秋田市山王4丁目1-1  
大館事務所 TEL.0186-42-1877  
〒017-0896 大館市宇大館105

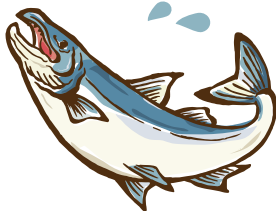
## ごあいさつ

4月から新年度が始まりました。安倍政権の5年間で弱い者いじめが続けられてきました。特に年金カット、介護負担増、生活保護費の切り下げなど目に余るものがあります。来年秋には消費税を10%に引き上げようとしており、庶民の暮らしは益々厳しくなるばかりです。

秋田県の人口は2045年に、今より40万人近く減って約60万人になるそうです。人口問題は重要課題です。秋田県内どこで暮らしていても、生活が維持できるようにセーフティネットを張り巡らすことが求められます。そのために行政が新たに条例を作るべきであります。皆さんの意見をいただきながら是非実現したいと思います。

## 鮭の稚魚放流式

平成4年から「長木川に鮭をのぼらせる会」が始めた鮭の稚魚放流ですが、今年は4月8日に行われました。当日は来賓に大館市から高橋教育長、秋田県から全国豊かな海づくり大会推進室佐藤班長を迎え、市民100人が参加しました。阿仁川漁協から運ばれた稚魚5万尾に加えて、市民が1月から家庭や職場で鮭の発眼卵を水槽で飼育し、4センチに成長した稚魚を持参し一緒に放流しました。秋には50センチ以上に成長した鮭が長木川に遡上し市民を喜ばせます。鮭の遡上が増えるように長木川の清流を守ろうと参加者で誓い合いました。



## 建設委員会質疑

石田 コンパクト事業について名称は誤解を招くと考える。県として、独自の名称が必要でないか。

答弁 誤解を招きやすいと感じている。我々が考えている理念は、コンパクト化と交通ネットワークの融合であるので、理解を深める活動も進めていきたい。今ある町の姿をそのまま維持できるのが、今回のポイントであり、持続可能なという

ところに持っていくために、一定の集約化であったり、一定の工夫であるとか、そういったところがコンパクトという言葉のミソとなっている。

質問 下水道事業と合併浄化槽の現況と推移はどうなっているのか。

答弁 下水道の整備率は、県全体で82.6%である。鹿角市や能代市は6割を下回っている所もある。人口が分散している場合、効率性を考え浄化槽に切り替えるなど計画を見直している。

質問 下水道が引かれた後の、接続率は。

答弁 平成28年度末の接続率は、県全体で82.2%である。平成26年度末の全国平均は94%であるので、遅れているかと思っている。



質問 下水道への接続率を上げるため、市町村と連携しているのか。

答弁 水洗化の貸付制度となるが、市町村において貸付利息を市町村が負担する等している。また広報については、工事説明会や広報での周知を行っている。



## 総括質疑



**質問** 秋田県では労働力不足が大きな課題となっている。農福連携の現状と今後の取組について。

**答弁** 農業関係では園芸関係の大規模法人で労働力不足が顕在化している。一方で障害者が農業に携わることで身体のリハビリや生きがいなど福祉効果が認められており、双方にとって良いことである。平成27年度になるが、579法人を調査したところ22法人で30名強の方々が雇用されている。決して多い訳ではなく、双方の効果を得るにはもう少し取組を進めた方が良い。平成27年度から3か年でモデル的な取組として、36法人に対して延べ75名の障害者の方々に実際に作業してもらおうという調査を行っている。現状として、福祉サイドと農業サイド双方のネットワークがまだできていない状況であるため、一つひとつを解決しながらマッチングを強化し取り組んでいきたい。



**石田** 能代産廃について、ドラム缶掘削も主たる環境保全対策の一貫であるのか。

**答弁** 能代産廃の環境保全対策については、産廃特措法に基づき国が認めた実施計画に基づいて実施しているところである。その計画の中で、今年度実施したドラム缶の撤去については対象外となっているため、現在行っている汚水の汲み上げ処理を基本とした現場内処理が能代産廃の環境保全対策の基本となる。

## 済州島4・3事件の慰霊祭に参加◆◆

1948年4月3日、韓国済州島の人々が米軍政の強い弾圧や南側単独選挙に反対し、武装蜂起しました。当時の米軍政、後に韓国政府が強硬に対応する過程で、無差別虐殺へと拡大。7年以上にわたる間、島民の10分の1にあたる約3万人が犠牲となりました。当時、日本の対馬にも数百の死体が流れ着いたといわれています。

事件から70年となった今年の慰霊祭には1万5千人が参加。私も大阪からのツアーに同行しました。文在寅大統領が出席し犠牲者に謝罪を行うと共に、「4.3の完全な解決こそが済州島民と国民の皆が望む和解と統合、平和と人権の確固とした土台になる」と演説し、「済州に春が来ている」と宣言しました。慰霊祭を終えて退席する際に文大統領は長い距離を歩き、その間多くの市民から握手を求められ、握手を交わしながら「頑張って」の声を受け止めていました。



参加した文大統領



献花する多くの参加者たち



済州4・3平和公園内にある行方不明者の標石

## 県政報告会

### 報告者

秋田県議会議員  
石田 ひろし

### 内容

- ◆ 2月定例会
- ◆ イージス・アショア配備 など

### 日時

5月11日(金)  
午後2時～

### 会場

北地区コミュニティセンター(有浦)

ご参加をお待ちしております。

皆さまのご意見を  
県政に届けます!!

